



ひばりぐみだより「あき」

チャリティー第一保育園 令和7年12月発行

3期(9~11月)の目標

○保育教諭等の見守りの下、難しいところは保育教諭等に援助を求めながら自分でできる喜びや達成感を味わう。

○紅葉、落ち葉など秋の自然に触れ、遊ぶ。

一人遊びが多く見られる「0歳児」から成長し、「お友だち」という存在に気付き始める1歳児。日常で獲得することばも増えてきて簡単な会話が成り立つようになってきました。その分、友達と上手に出来ない事も多くなりますがそれも成長段階の一つとしてとらえ、たくさんの経験を踏んでいる最中のひばり組です。



先生がいるから大丈夫…！



ここを握ると落ちないで上れる!!



自分で滑れるから見ててね

水分補給や手洗いの際には水飲み場へ移動します。蛇口も自分でひねることが出来るようになってきました。手洗いの際には「泡ちようだい!」と言って泡プッシュをして両手をゴシゴシ。しっかりすすいで最後にペーパータオルで拭いて仕上げます。「清潔」は毎日の生活の中での繰り返しで身につけていきます。



ボタン難しいなあ…



イカになったよ!



わくわく活動の様子

わくわく活動のテーマ「雨と水・花と葉・鳥・虫・雪」の中から今回は、「花と葉」→花、落ち葉、「虫」→秋の虫の観察、の保育風景をご紹介します。

園庭で見つけた花を摘んだはとさんが「ひばりさんにも」と花の匂いを共有している場面です。



お花のにおいがするよ

見てごらん



どこにいますの?

触れた!



触ってみようかな…

保育園の駐車場奥に毎年葉が落ちたものが集まり、雨が降らない日が続くと枯れ葉となり、今年は絨毯のようにたくさんになりました。葉の上を歩くとカサカサと音が聞こえたり、手で握り上から落とすと風によってゆっくりと落ちていく葉の姿を繰り返して、思う存分楽しむことが出来ました。



葉っぱ見つけた!

ここを歩くとガサガサ音がする…



これは私の物。



楽しい~!!

オバケだぞ~

ゆっくり、ゆっくり…

コロコロしてごらん

こうかな…?



真似してみよう



一緒に遊んであげる

絵本の読み聞かせ。少しの時間ですが集中して見る事が出来るようになってきました。様々な絵本の中から子ども達に見せたい物を選び、頭の中でイメージしたり発語を促していきます。

